

熊本市のプロフィール



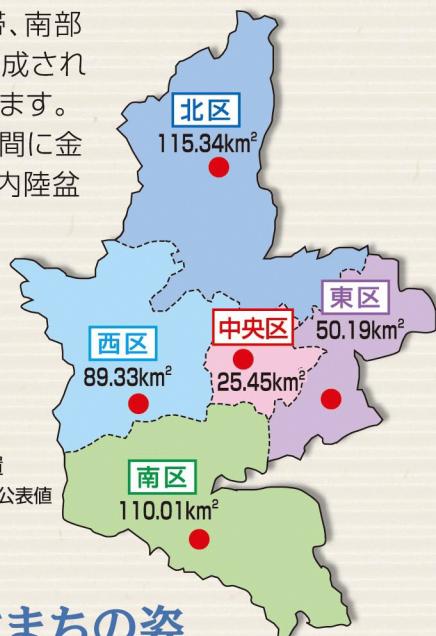
位置及び地勢

熊本市は、九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分に位置し、面積は390.32km²です。

地勢は、金峰山を主軸とする複式火山帯と、これに連なる龍田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪山群によってできた丘陵地帯、南部は、白川の三角州で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気候条件となり、寒暖の較差が大きく、冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

● 区役所の位置
面積：国土地理院公表値



めざすまちの姿

「上質な生活都市」

(熊本市第7次総合計画：平成28年度～平成35年度)

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれているまち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。

そのような、市民が住み続けたい、誰もが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。

熊本市震災復興計画

熊本市第7次総合計画(以下「総合計画」という。)の基本構想に掲げるめざすまちの姿「上質な生活都市」の実現は、震災後の本市においても、変わることのない目標です。

「上質な生活都市」を実現するための施策や具体的な取り組みを体系化し、その取り組みを計画的に推進していくため、総合計画に復旧・復興の視点を取り入れた熊本市震災復興計画を策定し、これを総合計画の前期基本計画の中核として位置付けます。

基本方針 ~市民力・地域力・行政力を結集し、安全・安心な熊本の再生と創造~

- 1 避難から復旧、そして74万市民が総力をあげ明日を見据えた復興へ
- 2 「安全・安心」と「元気・活力」、そして「地域経済」の回復に向けた効果的かつ迅速な市政展開
- 3 市民・地域と行政が協働で支える安全・安心で「上質な生活都市」の創造



人口

明治22年、市制施行当時約4.3万人(明治22年12月31日現在)であった人口は、その後、数回にわたる市域の拡大や都市化の進展により増加し、平成3年2月1日、飽託郡4町と合併し約63万人となりました。

その後、平成20年10月6日には富合町と、平成22年3月23日に植木町、城南町と合併し、市域を拡大した新「熊本市」は平成24年4月1日、約74万人、全国で20番目、九州で3番目の政令指定都市へ移行しました。

	人口			世帯
	総計	男性	女性	
中央区	187,812人	88,338人	99,474人	98,560世帯
東 区	189,199人	89,719人	99,480人	80,095世帯
西 区	91,156人	42,660人	48,496人	39,220世帯
南 区	129,956人	61,176人	68,780人	49,667世帯
北 区	141,612人	67,159人	74,453人	56,907世帯
計	739,735人	349,052人	390,683人	324,449世帯

平成31年3月1日現在(熊本市推計人口)